

NPO法人みんなのひろば（福島県伊達市）

不登校だって実験したい！

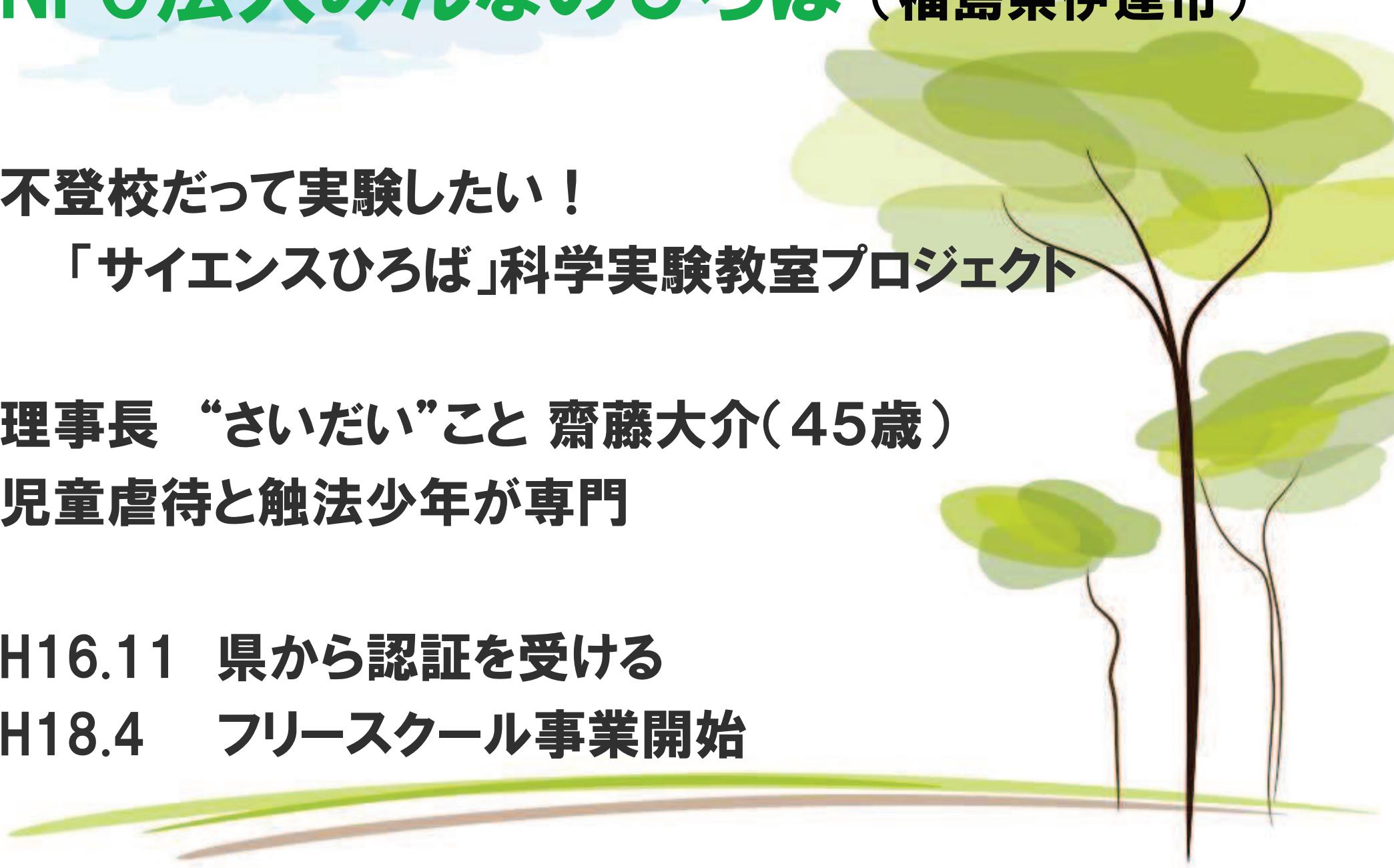
「サイエンスひろば」科学実験教室プロジェクト

理事長 “さいだい”こと 齋藤大介(45歳)

児童虐待と触法少年が専門

H16.11 県から認証を受ける

H18.4 フリースクール事業開始



フリースクールみんなのひろば H18.4~

- 不登校の小～高校生、18歳以上も含めて、現在20名の登録あり
(小学生5名、中学生8名、高校生4名、高卒以上3名)
伊達市内の小中学校の利用は公的出席扱いとなる
- 1日の利用は10～12名程度(その子によって利用頻度は別々)
学習支援、コミュニケーションスキル、職業体験、ボランティア活動
自然体験、さまざまな活動を通して自立をサポート
- 「心の準備を整えて、また別の場所に一步を踏み出す」お手伝い
通過施設としての役割



フリースクールみんなのひろば H18.4~



フリースクール
みんなのひろば

みんなのひろば高等部 H29.1～

- 東豊学園つくば松実高等学校のサテライト校として高校卒業までをサポートする
- 現在7名が在籍(他高校からの転学が主)
- レポートとパソコン学習が基本、当法人で行うことができる年1回のスクーリング(3泊4日)は本校へ(当法人スタッフ引率)
- 中学3年生の進路先として、養護学校からの転校など地域においてニーズが高まっている

みんなのひろば相談室そーだんひろば H30.10~

- みんなのひろばの相談専門部署として開設
- 相談支援専門員1名が常駐し、不登校相談、見学依頼
子育て相談、療育相談、また利用保護者との相談業務も行う
- 伊達市からの委託事業として計画相談を行えるよう、現在申請に
向けて準備中
- フリースクール・高等部と兼用のため
別建物に移転したい

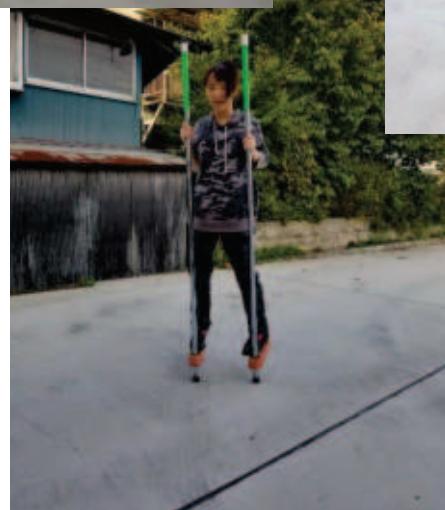
みんなのひろば相談室 ご
そーだんひろば

放課後等デイサービスほーかごひろば H29.6~

- 児童福祉法による障がい児通所支援サービス
- 支援クラスや養護学校に通う子どもたち専門の学童のような施設
- 知的障がい・発達障がいのある子どもたちの療育を行う
遊びやスポーツ等を通してビジョントレーニングや感覚統合プログラム、SST(ソーシャルスキルトレーニング)など
- 定員は10名。現在15名の登録。
1日の利用は8~10名。



放課後等ディサービスほーかごひろば H29.6~



放課後等ディサービス
ほーかごひろば

NPO法人みんなのひろば



<ミッション>

不登校であっても、障がいがあっても、夢を持って、安心して生活ができる地域づくり

「みんなのひろば」の名のとおり
地域の「みんな」がホッと安心できる「ひろば」のよう
な存在でありつづけること

みんなの
ひろば



不登校だって実験したい！ 「サイエンスひろば」科学実験教室プロジェクト



<目的>

- ①子どもたちの身近にある空気、磁石、水などを素材とし、遊びを通して理科・科学という教科や実験を体験する機会を作る。
- ②実験を子ども自ら楽しむことで、科学技術、工業、エネルギー問題等にも興味を持てる子どもたちを増やしていく。
- ③子どもとスタッフが一緒になって実験に参加することで、コミュニケーションの機会を増やし、信頼できる大人（親以外の第三者）との関係性を高めていく。

以上の3つを大きな目的として、当スクールのサービスの充実と当法人の組織基盤の強化を図っていく。

不登校だって実験したい！ 「サイエンスひろば」科学実験教室プロジェクト



1、「サイエンスひろば」の実施

高校理科の教員だった中村が企画運営。月2回、隔週で、子どもたちが楽しみながら興味の持てるような科学実験を行う。

まずは身边にあるものをテーマとする。磁力実験、顕微鏡の使い方、蒸氣実験、スライムづくりなど

月	火	水	木	金	土	日
		●サイエンスひろば				
SST		スポーツディ		お菓子作り教室		スポーツボランティア
		●サイエンスひろば				
		スポーツディ	芋煮会		花植えボランティア	

不登校だって実験したい！ 「サイエンスひろば」科学実験教室プロジェクト



2. サイエンスひろば & 不登校相談会

不登校問題はデリケートな部分も多く、保護者自身も気軽に相談できず、子どもたちも「フリースクールってどんなところなのだろう」と不安に思っていることが多い。フリースクールの玄関をくぐるまでに大きな壁があることを感じている。

子どもはフリースクールの見学と体験の機会を、保護者は日頃の悩みを相談できる場所・きっかけとして実施する

- 対象:伊達市内、福島市内に在籍する小中学生と保護者
- 開催回数:年2回(6月と9月を予定)
- 会場:当フリースクール内

不登校だって実験したい！ 「サイエンスひろば」科学実験教室プロジェクト



3. 広報ツールの作成

- ・フリースクールパンフレット
- ・不登校相談会のチラシの作成、配布

4. フィールドワーク研修(県内・県外の他事業所の視察)

不登校児の対応、発達障がいのある子どもとの関わり、子ども一人ひとりの気持ちや特性を十分に理解し、専門的な対応を求められることが多い。スタッフ自身のスキルアップは必須である。

- 対象:フリースクールスタッフ4名
- 開催回数:年2回(県内と県外の視察)
- 内容:理事が涉外係となり理事会において視察先を決定。復命書により報告し、理事会でも口頭で報告する。

不登校だって実験したい！ 「サイエンスひろば」科学実験教室プロジェクト



3. 広報ツールの作成

- ・フリースクールパンフレット
- ・不登校相談会のチラシの作成、配布

4. フィールドワーク研修(県内・県外の他事業所の視察)

不登校児の対応、発達障がいのある子どもとの関わり、子ども一人ひとりの気持ちや特性を十分に理解し、専門的な対応を求められることが多い。スタッフ自身のスキルアップは必須である。

- 対象:フリースクールスタッフ4名
- 開催回数:年2回(県内と県外の視察)
- 内容:理事が涉外係となり理事会において視察先を決定。復命書により報告し、理事会でも口頭で報告する。

不登校だって実験したい！ 「サイエンスひろば」科学実験教室プロジェクト



<参加目標>

- 1、サイエンスひろば 5名×20回=100名
- 2、不登校相談会 5親子×2回=20名

- サイエンスひろばを楽しみにする生徒が増える
- 新規の利用者が増える
- サイエンスひろばが当フリースクールの売りの一つとなる
- 行政、関係機関、地域の支援者、協力者との連携強化
- 中村を正社員として雇用できる体制づくり



ご清聴ありがとうございました

フリースクールみんなのひろば
みんなのひろば高等部
みんなのひろば相談室そーだんひろば

〒960-0621 福島県伊達市保原町字中村町41-1
TEL 024-575-0157 FAX 024-573-5223

放課後等ディサービスほーかごひろば
〒960-0613 福島県伊達市保原町字内町13-14
TEL 024-573-7781 FAX 024-529-5079

子ども・若者を対象とする生活支援活動



「事業名」
不登校だって実験したい！
「サイエンスひろば」
科学実験教室プロジェクト



2019年9月25日

団体名:NPO法人みんなのひろば
発表者:理事長 斎藤大介

団体概要

みんなの
ひろば



- ・団体設立経緯

2004年、児童福祉・児童心理に携わるメンバーが中心となつて法人設立。自然体験・ものづくり・職業体験・ボランティア活動など様々な活動を通して学校に通えない子どもとその保護者を児童福祉の立場から支援できるフリースクール事業を開始した。(2006年～)

- ・活動内容

フリースクールみんなのひろば

みんなのひろば高等部

放課後等デイサービスほーかごひろば

みんなのひろば相談室そーだんひろば



日産スマイルサポート基金2019の事業活動概要

- ・活動の目的

- ①子どもたちの身近にある空気、磁石、水などを素材とし、遊びを通して理科・科学という教科や実験を体験する機会を作る。
- ②実験を子ども自ら楽しむことで、科学技術、工業、エネルギー問題等にも興味を持てる子どもたちを増やしていく。
- ③子どもとスタッフが一緒になって実験に参加することで、コミュニケーションの機会を増やし、信頼できる大人(親以外の第三者)との関係性を高めていく。

- ・主な支援地域と支援対象者

当フリースクールを利用している小学生から高校生まで(伊達市・福島市に在籍)また、現在不登校であり、当フリースクールの利用を検討している子ども

日産スマイルサポート基金事業活動概要

・活動内容

(1)・・サイエンスひろば科学実験教室



(2)・・サイエンスひろば&不登校相談会

(3)・・広報ツールの作成

(4)・・フィールドワーク研修(県内・県外の視察)

前半の取り組みの成果

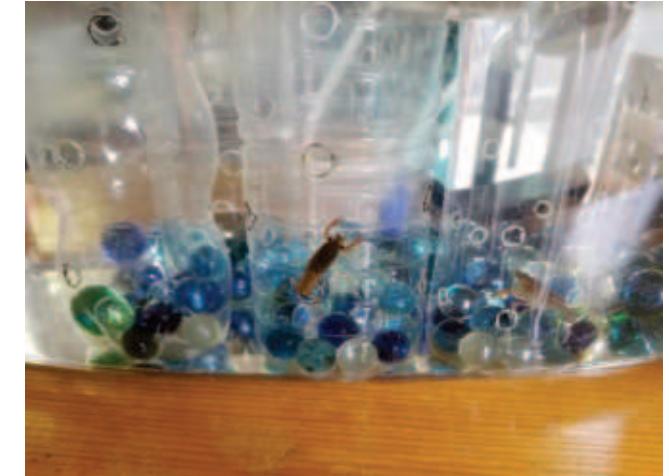
10回のサイエンスひろばを実施(月2回)

1時間程度の科学実験を行う

- 蒸気実験(ポンポン船)
- スライムづくり
- シャボン玉の浮上実験
- 大気の重さを体験しよう
- ザリガニ釣り&飼育 などなど

1回あたり生徒4~7名、スタッフ3~4名の参加
のべ88名の参加があった(卒業生も参加あり)

前半の取り組みの課題



後半の取り組みについて

- サイエンスひろば(10回／全20回)

- 実験器具や顕微鏡なども使いたい

- サイエンスひろば&不登校相談会

- 9月と11月予定

- 広報ツールの作成

- いろいろな写真を盛り込みたい

- フィールドワーク研修(県内・県外)

- 県内外のフリースクールの見学

活動テーマ 子ども・若者を対象とする生活支援活動

日産スマイルサポート基金2019
不登校だって実験したい！
「サイエンスひろば」科学実験教室プロジェクト

2020年2月13日

団体名：NPO法人みんなのひろば
発表者：理事長 さいだい（斎藤大介）



ここが みんなの
ひみつきち！

NPO法人みんなのひろば

団体概要

- ・団体設立経緯

児童福祉・児童心理に携わるメンバーで、不登校支援フリースクールを開設するために2004年設立。2006年よりフリースクール事業開始。

- ・活動内容

フリースクールみんなのひろば　みんなのひろば高等部
放課後等デイサービスほーかごひろば
みんなのひろば相談室そーだんひろば



ここが みんなの
ひみつきち！

NPO法人みんなのひろば

日産スマイルサポート基金2019の事業活動概要

・活動の目的

- ①実験を体験する機会をつくる
- ②環境やエネルギーなどにも興味をもてる
- ③信頼できる大人とのコミュニケーション

・主な支援地域と支援対象者

フリースクール利用中の小学生～高校生

または、現在、不登校の子ども(保護者)

ここがみんなの
ひみつきち！

NPO法人みんなのひろば



日産スマイルサポート基金事業活動概要

・活動内容

(1)「サイエンスひろば」科学実験教室の実施

全20回 隔週で実施 60～90分の実験教室

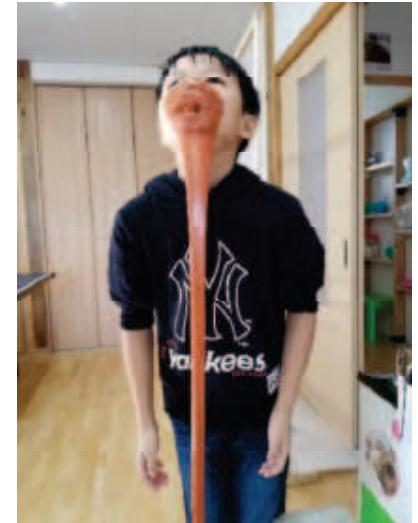


日産スマイルサポート基金事業活動概要

・活動内容

(1)「サイエンスひろば」科学実験教室の実施

全20回 隔週で実施 60～90分の実験教室



ここがみんなの
ひみつきち！

NPO法人みんなのひろば

日産スマイルサポート基金事業活動概要

・活動内容

(2)サイエンスひろば & 不登校相談会

全2回 親子で参加 子どもは実験 保護者は相談



ここがみんなの
ひみつきち！

NPO法人みんなのひろば



日産スマイルサポート基金事業活動概要

・活動内容

(3) 広報ツールの作成

当法人パンフレット 相談会チラシ

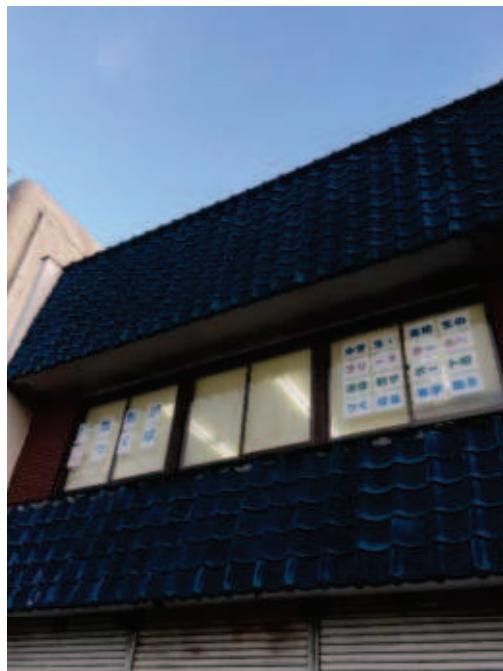


日産スマイルサポート基金事業活動概要

・活動内容

(4)フィールドワーク研修

県内・県外の施設見学・情報交換



活動の目標及び評価

(1) 実験教室

目標: 1回あたり5名参加

評価: 5.75名の参加

(2) 不登校相談会

目標: 10親子参加

評価: 10親子参加

(3) 広報ツール

目標: 2種類を作成

評価: 良

(4) フィールドワーク

目標: 県内県外視察

評価: 良

ここがみんなの
ひみつきち!

NPO法人みんなのひろば



活動の取り組みの中でうまくいった点

(1) サイエンスひろば

子どもたちが楽しみにする活動の一つとなった
ひろば内の会話が増えた
ほーかごひろばでも実験が始まった

(2) 不登校相談会

新規の生徒が増えた
当法人の活動を知ってもらえる機会が増えた



活動の取り組みの中でうまくいった点

(3) 広報ツール

念願だった法人パンフレットを作ることができた
紙媒体の広報の大変さ

(4) フィールドワーク

先駆的な取り組みなど良い情報交換ができ
た
関係機関が増えた



活動でうまくいった点に対する改善策

(1) サイエンスひろば

さらに子どもたち主体で取り組ませたい
子どもたちを外に連れ出したい

(2) 不登校相談会

自己資金でこの相談会を継続させること

ここがみんなの
ひみつきち！

NPO法人みんなのひろば



活動でうまくいかなかつた点に対する解決策

(1) サイエンスひろば

他のスタッフも科学実験ができるようにしたい
スタッフ育成

(2) 不登校相談会

1親子30分は短かった
時間設定を改善する



活動テーマ

子ども・若者を対象とする生活支援活動

日産スマイルサポート基金2020
「サイエンスひろば出かけ隊」
科学実験教室出前講座事業

ここが みんなの
ひみつきち！

NPO法人みんなのひろば



日産スマイルサポート基金2020の事業活動概要

・活動の目的

- ①理科離れの解消、理科や実験の楽しさ
- ②自ら企画、実施し、ボランティア体験をする
- ③みんなのひろばの存在を伝えていく

・主な支援地域と支援対象者

不登校の小学生～高校生

サイエンスひろば出かけ隊は地域の小学生対象

ここが みんなの
ひみつきち！

NPO法人みんなのひろば



日産スマイルサポート基金事業活動概要

(1)サイエンスひろば出かけ隊

年4回実施予定。地域の小学生20名程度に向けて科学実験教室を提供。フリースクールの子どもたちがスタッフとして活動する。

(2)サイエンスひろば

昨年より内容を充実させて全10回予定。

(3)不登校相談会

年2回予定。時間設定は要検討。



目標を達成するため強化するポイント

子どもたちの自主性と责任感

人の交流・コミュニケーション

魅力ある科学実験の確立

ここが みんなの
ひみつきち！

NPO法人みんなのひろば

